

中期経営計画（2018年度～2020年度） 【概要版】

【 経 営 理 念 】	わたしたちは、日本経済の中で大きな役割を担う中部圏の「ものづくり産業」を物流面でしっかり支え、地域経済の発展、市民生活の向上及び国際的な通商の伸展に貢献していきます。
【 経 営 方 針 】	<ul style="list-style-type: none"> ● お客様の要請に真摯に向き合うことでベストサービスを追求し、選ばれる港湾を目指します。 ● 伊勢湾（名古屋港・四日市港）の港湾機能を最大限に利活用し、一元的な管理による相乗効果の創出、効率的な運営を推進します。 ● 伊勢湾（名古屋港・四日市港）の先進性、優位性をアピールする営業戦略を展開します。 ● 作業の安全性向上に配慮するとともに、大規模災害時にも物流機能が確実に確保できるように、安全・安心な施設提供に努めます。 ● 温室効果ガス削減に配慮した施設提供など、環境負荷の低減に努めます。 ● 持続可能な健全経営の視点に立脚し、柔軟かつ公正な会社運営を目指します。
【基本戦略と 主な取り組み】	<ol style="list-style-type: none"> 1 コンテナターミナルの効率的運営・機能強化 船舶大型化や取扱能力の向上等の機能強化、情報化の進展や技術革新への対応等による効率的な運営の推進 2 港湾利用の促進 港湾管理者、利用促進協議会、商工会議所等と連携した利用促進 3 安全・安心、環境に配慮した施設提供 安全性向上、大規模災害発生時における物流機能の早期復旧に資する安全・安心で環境にも配慮した施設提供 4 安定した事業運営 コスト低減、運営体制の強化による安定かつ公正な事業運営 5 施設提供と外貿コンテナ取扱個数 2020年度の施設提供（岸壁、コンテナヤード、ガントリークレーン）、外貿コンテナ取扱個数（310万TEU）
【財務に関する計画】	2018年度～2020年度の計画額